

(案)

平成 28 年 月 日

村上市長 高橋 邦芳 様

村上地区地域審議会
会長 山口 治雄

第 2 次村上市総合計画策定に向けての提言書

当地域審議会では、地域における「日常生活の課題と解決するための方向性」について審議いたしました。

その結果、下記については特に重要な事項であるとして、第 2 次村上市総合計画を策定するにあたり、ここに提言いたします。

記

1. 子育て世代への教育（連携支援）について

個人のライフスタイルの変化などにより子育ての環境は大きく変わり、親同士の繋がりや世代を超えた繋がりも求められています。

世代を超えたすべての市民がそれぞれの役割を十分に発揮し、子育てを見守り支援していくことの有効性を十分に捉え、広く市民に啓発していく必要があります。

2. 買い物環境の整備支援について

大型商業施設の郊外進出やそれに伴う小規模商店の撤退により、高齢者を中心に日々の生活用品の購入に苦慮される方がおり、今後も増加することが容易に予想されます。

小規模商店や市場への支援も含め、地域に居ながらにして商品が購入できるようなシステムの構築に努める必要があります。

3. 公共交通の拡充と道路環境の整備について

高齢者が年々増加し、その移動手段の確保に苦慮しています。また、市民の生活道路の多くは狭隘であり、冬場の除雪にも苦慮しております。

安全安心で利便性の高い公共交通網の整備と併せて幹線道路の整備を中心とした生活道路環境の整備促進に努める必要があります。

(案)

4. 地域と学校の連携について

少子化に伴い地域から子供たちの声が聞こえなくなりつつあることに加え、小中学校の統廃合などにより地域と学校の結びつきが希薄となりつつあります。地域にとって子供たちの姿は活力を与え、世代を超えた地域内の交流が図られることが期待されます。子供たちの自立性や社会性、競争心の育成など、集団教育の維持向上と併せて地域とさらに連携していく教育環境の整備に取り組む必要があります。

5. 市民目線での行政運営について

行政が必ずしも市民生活に密着しているとは感じられない側面が見られます。市民の理解のもとに行政運営がなされることは、村上市全体の有益性が高まることから、組織体制も含め、常に市民目線に立った行政運営に努めていく必要があります。

なお、地域審議会において審議された意見を別紙にまとめましたので併せて提言いたします。

日常生活の課題と解決に向けた方向性について

(1) 子育て

村上地区

現状と課題	解決するための方向性
<p>1. 保育環境の充実</p> <p>①保育園や学童保育所の充実</p> <p>②未満児保育の充実</p> <p>③グーグルで「子育て支援」を検索すると厚生労働省関連に続き、5番目に「地域子育て支援センター」として村上市公式ホームページがヒットする。その後、4項目が村上市の子育て支援センター関連で「村上市子ども・子育て支援事業計画」のアクションプランの進捗度が順調であることを示しているものと考えられる。かつ、本事業の一定の充実ぶりを表すものであり、評価できる。</p> <p>④同年代の幼児が少なく保育園・学童保育施設での切磋琢磨や社会性に欠ける。自然と触れ合う体験不足で他人への思いやりや体力、精神力、豊かな想像力、的確な判断力が育たない。</p> <p>⑤地域の子供が近くの保育園に通えるようにしてもらいたい。</p> <p>⑥荒川保育園が新設され、それも大型化されてその姿を見ますと、大小のメリットを比較すれば子供達が大勢の中で育つのは大変良い事だと思います。友達作り、競争心、上下関係や指導する先生方も競い合っただけの面が前に出ている。</p> <p>⑦山辺里の人からも地元の子供が満員で遠くに預けたとの意見がありました。荒川地区でも同様の事が起きています。中核保育園なのでその対応をしてもらいたい。</p> <p>⑧子供の予防注射等で、荒川地区の子供が神林に行かなければならないと聞く。多くの対象者のいる所で対応できないものか。</p> <p>⑨働く女性の増加とともに社会の要望が低年齢から保育所に預けるという生活様式が高まり、次第にその割合は増加してきていて、行政も子育て支援の立場から、保育園での受け入れ態勢を強化してきたが、施設や保育士は不足している。また、村上地区では3才児未満児童を遊ばせる施設が狭く、時には危険な時もあり、家庭保育をしている方々から、改善要求を求める話を聞いている。</p> <p>2. 子育て環境の充実</p> <p>①便利、快適、スマート、美しい生活を望むことで子育てに行き詰まる。</p> <p>②子どもが安全で遊べる場所が少ない。</p> <p>③保育園や学童保育所の充実</p>	<p>1. 保育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート保育士の採用等により未満児保育を充実 ・保育延長、休日保育等の早急な導入により子育て世代が安心して仕事に就ける環境整備 ・豊かな自然の中での保育を充実し心身を育む ・子供が集中しやすい保育園などの定員増 ・保育士の資質向上 ・人口予想を踏まえ、計画的な中核保育園の整備 ・住民の納得が得られる保育の対応 ・施設・施設器具等の整備 <p>2. 子育て環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3世代が集える場の整備 ・子供の遊び場の整備※各機関・関係者が協力して無駄の無い施設を整備 ・安全に遊べる大きな公園やレジャー施設等の整備 ・親同士が悩みを気軽に話しが出来る場所の開設

(案)

<p>④公園遊具の補助事業に係わる現要綱では、新設事業のみが対象となっており使い勝手が悪い。</p> <p>⑤市制 10 周年記念事業として大規模公園の新設を望む。</p> <p>3. 子育て世代への教育</p> <p>①・子育て意識が稀薄もしくは欠如。</p> <ul style="list-style-type: none">・子供を保育施設に預け自分たちは遊びに出かける事例も耳にすることがある。 <p>②便利、快適、スマート、美しい生活を望むことで子育てに行き詰まる。</p> <p>4. 子育て世代の減少</p> <p>①同年代の幼児が少なく保育園・学童保育施設での切磋琢磨や社会性に欠ける。自然と触れ合う体験不足で他人への思いやりや体力、精神力、豊かな想像力、的確な判断力が育たない。</p> <p>②子育て世代の定住、定着に難あり。就職、進学を機に地域外へ出た人間が戻って来ない。努力は乏しい雰囲気。</p>	<ul style="list-style-type: none">・子供を安心して遊ばせることの出来る施設の整備・既存の公園遊具の修繕・環境整備への補助範囲拡大・ファミリーで通年楽しめる大規模な公園の新設 <p>3. 子育て世代への教育</p> <ul style="list-style-type: none">・(仮称) 子育て条例の制定・小中学校とも連携し、子育てに関する講座等を開催・ママたちがこれで良いと思える教育のあり方を知る場の整備 <p>※各機関・関係者が協力して無駄の無い施設を整備</p> <p>4. 子育て世代の減少</p> <ul style="list-style-type: none">・魅力ある雇用の場の充実・婚活による小子化の解消・若者の雇用の充実・空き家活用による移住促進・「よそ者」「若者」が先頭に地域の活性化を図る・婚活の充実
--	---

日常生活の課題と解決に向けた方向性について

(2) 買い物

村上地区

現状と課題	解決するための方向性
<p>1. 買い物弱者（買い物難民）対策</p> <p>①高齢になり車を手放すことにより、買い物等いつまで一人で行けるかなど心配する人が多くなってきている。</p> <p>②食品類を扱う商店は郊外に移転し、車を利用する人は便利になったが車のない人や高齢者は買い物難民となっている。</p> <p>③高齢者の買い物。各地域によって異なるが地域にあった政策。</p> <p>④瀬波地区に商店がほとんど無くなって久しいが、特に肉や魚などスーパー問わず日常生活に欠かせない生鮮食料品の取扱店がなく、買い物に大変な苦勞をしている。村上駅前地区でも肉が買えないと意外と思える声もあり、基本目標3「活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり」施策5. 地域商店街や中心市街地活性化の支援にこの「買い物難民」について言及がない。</p> <p>⑤今後、買い物弱者が増え続けることが予想される。</p> <p>⑥岩船地区にスーパー等の商業施設がなく、自家用車を持たない高齢者や岩船でアパート暮らしをしている専門学校生・大学生が苦慮している。</p> <p>⑦山辺里地区には国道近辺を除けば、商店等はほとんどない。10年後位には高齢者世帯が増え、日常の買い物もままならない状況が予想される。</p> <p>⑧今のところ買い物には困ってはいないが、この先年を取ったらの不安はあります。</p> <p>⑨高齢化に伴い、遠隔地での買い物難民問題は今後の課題。現実的には、食料品の宅配事業をJAやヨシケイが実施しているが、その取引数量は皆さんが思っている程では無い状況です。</p> <p>⑩近くにお店がなく、高齢者は交通手段があっても移動が難しい場合もある。</p> <p>⑪流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれていて、徐々にその増加の兆候は高齢者が多く暮らす過疎地にある。</p> <p>2. 地産地消の推進</p> <p>①地元品の取扱い拡大策にもっと力を入れて行く。</p>	<p>1. 買い物弱者（買い物難民）対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配サービスの充実・注文支援 ・買い物代行サービス ・移動販売車の充実・支援 ・村上市総合計画に支援策を盛り込む ・公共交通の再点検、見直し ・町内（集落）単位での買い物支援制度 ・公共交通の充実 ・各商店の御用聞きの実施 ・ご近所の小さなコミュニティの確立 ・公的に作り上げる買い物ゾーン計画 ・六斎市の公的資金投入 <p>2. 地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA直売や直接販売のキャンペーン実施

日常生活の課題と解決に向けた方向性について

(3) 交通

村上地区

現状と課題	解決するための方向性
<p>1. 道路環境の整備</p> <p>①国道 345 号線は冬場になると海が大時化となり、波しぶきと一緒に「砂、小枝、ペットボトル」ゴミが国道に飛散し非常に危険を伴います。(上海府地区海岸線、岩ヶ崎～馬下迄の区間)</p> <p>②国道 345 号線(上海府地区全域) 飛散防止柵設置 冬期間は村上の町に勤めていても、大時化による高波で通勤も危険を伴う。通行止めにより帰宅できない。</p> <p>③観光を重点に置く村上市は、瀬波トンネルまでの道路開通により笹川流れや、新しく建設が計画されている村上病院のアクセス道路としても効果が大きい。</p> <p>④最も利用の多い生活道路である市道の整備などが最も後回しになっている。ほとんど利用しない国道の歩道はきれいに除雪しているのに、市道の一部の除雪が後回しになっている例が見られる。</p> <p>⑤国道 7 号線の渋滞も一層緩和されることと、高速道路の片側一車線は特に冬道において危険である</p> <p>⑥村上駅裏への跨線橋を荒川側の方へも設置して交通の便を良くしてもらいたい。</p> <p>⑦道路が増えて、業者も減少しており、冬季の除雪が年々手間取るのでは。</p> <p>⑧観光客が近頃多くなってきているため、歩く人が多くなってきた。</p> <p>2. 公共交通の整備</p> <p>①公共交通(バス、電車等) 利便性の向上。</p> <p>②路線バスに乗客の姿がほとんど見受けられない。然も、従来の大型バスに一人も乗客がいないことがとても不思議に感じます。</p> <p>③岩船から村上方面に移住する学生が増えているが、路線バスの本数が少なく、自家用車を持たない高齢者、専門学校生・大学生など移動に苦慮している。</p> <p>④朝夕の通学通勤時の駅前の渋滞。</p> <p>⑤現体制の公共交通体制がうまく機能していない</p> <p>3. 二次交通の整備</p> <p>①市内観光シャトルバス。</p> <p>②まちなか循環バスのより一層の充実を図る必要性がある。理由として、瀬波温泉を基点とする村上市街、笹川流れ方面への観光客の観光ツアーとして、商品として成り立っていない事象がある。</p>	<p>1. 道路環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上海府地区海岸線、岩ヶ崎～馬下迄の区間へのゴミ飛散防止柵の設置 ・瀬波小学校～瀬波トンネルまでの道路を早期に開通 ・道路行政(予算付け等)を抜本的見直し ・市道管理の迅速化 ・日沿道の 4 車線化 ・村上駅裏への跨線橋を山居町側へも設置 ・冬季主要道路の設定 ・歩行者天国の実施 <p>2. 公共交通の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス、電車等の利便性の向上 ・公共交通のあり方を検討する。 ・岩船地区でのまちなか循環バス、デマンド型交通システム等の運行 ・JRの駐車場と相談し有効利用 ・パークアンドライドの推進 ・自動車使用抑制 ・村上駅周辺に無料市民駐車場施設を設置 <p>3. 二次交通の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内観光シャトルバスの運行 ・瀬波温泉を基点とする村上市街、笹川流れ方面への観光客の観光ツアー商品 ・現行ルートの観光客のニーズから刷新

日常生活の課題と解決に向けた方向性について

(4) 教育

村上地区

現状と課題	解決するための方向性
<p>1. 教育施設の統廃合・有効利用</p> <p>①少子高齢化による上海府小学校、保育園の閉鎖廃校問題、生徒数の減少に伴い将来的には閉校の恐れがある。</p> <p>②生徒数の減少により、子供の声が聞こえなくなったとか。複式学級を実施しているが、来年は全校生徒数が25名以下になる学校があると聞いています。早急に対策を考える必要がある。</p> <p>③子供人口の減少による施設の集約化。</p> <p>2. 市民の文化教養レベルの向上</p> <p>①県展の村上展開催誘致を積極的に進める。</p> <p>②大人の文化、教養に関する機会を作っていただきたい。現在も企画されているが、団塊の世代も65歳を超えて仕事から離れるのでその対象案を願いたい。</p> <p>③市民アンケートを取ると、「自然が豊かで住みやすい」この理由が1番にあげられるのが数十年続いている、市民誰もがこの地の自然を満喫し、そして感じて暮らしている。「自然が豊かで住みやすい」は市民の心にふるさとして刻み込まれているが、現状で足りないところは、この自然豊かなふるさとを、保全し次世代に渡さなくてはならない責務が、村上で暮らす私たちにあるという認識である。</p> <p>3. 学力・運動能力の向上</p> <p>①小学校、中学校の入学生が少なく、一学年一学級という状況が続き切磋琢磨や社会性が育たない。保育園から十数年一学級である。スポーツや文化面でもレベルアップできない。</p> <p>②学校と地域のつながり。</p> <p>4. 愛郷心の醸成</p> <p>①県外、殊に東京の著名大学へ進学することを目指すことは、今と昔も変わらないし人生のある若い時期、首都へ出て生活することは極めて有意義であるが、であるからこそ基本目標5-1「郷育のまち・村上」の推進を打ち出したことは適時である。</p> <p>②進学等で地域を離れた人たちに、地元に戻ってもらうには何が必要なのか考えたい。</p> <p>5. 不登校対策</p> <p>①学校に行けない子対象の適応指導教室利用者がほとんどいない。指導員が教員退職後の方なので、学校と指導観がほとんど同じで子どもが行きたがらない。</p>	<p>1. 教育施設の統廃合・有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校存続の為に、栗島浦村のように地方からの留学生を募集する。 ・複式学級の解消 ・小学校の統合 ・空き学校の有効利用 <p>2. 市民の文化教養レベルの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県展の村上展開催誘致 ・公的、私的な場での教育、地域での教育の機会の充実 <p>3. 学力・運動能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年二学級以上で意欲的に切磋琢磨、学力向上につながる教育 ・中学校と地域の大人と各種スポーツ競技の実施 <p>4. 愛郷心の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光立市村上」を宣伝 ・観光産業に立脚する村上を学校教育の場で教える ・子供の頃から地域社会との繋がりが感じられる取組 <p>5. 不登校対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間支援団体との連携を深め、指導教室のカリキュラムの中に参加 ・民間支援団体との意見を交換

(案)

<p>6. 高等教育研究機関の誘致 ①市内に高等教育研究機関がない(少ない)。</p> <p>7. スポーツ大会等の市民周知 ①スポーツ大会など市民への周知が足りていないのではないのでしょうか。県の駅伝大会など新聞で選手名を知る前に教えてもらいたいです。</p>	<p>6. 高等教育研究機関の誘致 ・大学(附属機関)、専門学校誘致促進</p> <p>7. スポーツ大会等の市民周知 ・市の広報などで出場選手の紹介</p>
---	---

日常生活の課題と解決に向けた方向性について

(5) 行政

村上地区

現状と課題	解決するための方向性
<p>1. 行財政改革の推進</p> <p>①市行政の組織改革や人員削減により、各支所等では職員数が減少し地区住民のサービス低下となっていると良く耳にします。また各支所の空室の有効活用は。</p> <p>②印鑑証明や住民票を取りに市民課の窓口へよく行くが、対応の良さに感心する。「市民サービス」がしっかり維持されているものと思う。基本目標6-4職員意識改革の実践の賜物であろう。</p> <p>③職員の実績が見えない。</p> <p>④各支所間の連携をしっかりとってもらいたい。</p> <p>⑤行政コストの削減を。</p> <p>⑥不利用施設の公開を。</p> <p>⑦市町村合併後、七年半が経過しております。様々な審議会、協議会、委員会等があります。確かにそれぞれに設置目的がありますが、(失礼ですが) 似かよった会議が似かよったメンバーで運営されていると感じる。</p> <p>2. 議会改革の推進</p> <p>①議員の活動が見えない。</p> <p>②市町村合併後、七年半が経過しております。多方面でスリム化を検討しても良い時期かと思えます。</p> <p>3. 市民協働のまちづくりの推進</p> <p>①市民アンケートをしてみると依然として、行政への依存度が高く自ら主体的に問題解決に取り組む姿勢が少ない、あくまで行政がやってくれるのを待っている状況では何もまちは進歩していかない。</p> <p>②文化、スポーツ、芸能等の地域行事について。</p> <p>③「市民協働のまちづくり」の推進組織「地域まちづくり組織」がある。町内会などの支援など画期的である。本まちづくりを大いに進められたい。</p> <p>4. 災害対策</p> <p>①津波対策の避難路整備事業</p> <p>大地震で10メートルを超える津波の予想がある。上海府地区は海と山に囲まれた自然豊かな地域です。大津波が来た場合近くの山へ避難せざるを得ません。山道はあるのですが、草木が生い茂り高齢者にはとても無理です。現在の避難場所で安全が確保されるのか心配です。</p>	<p>1. 行財政改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織機構の見直し ・各支所の空室の有効活用 ・簡素で効率の良い行政経営の推進 ・支所間での職員の人事交流の活発化 ・人事評価の実施 ・各課・支所間の連携、事前打合せ ・職員数の適正管理 ・不利用施設の公開 ・同施設の対処策の検討 ・様々な審議会、協議会、委員会等の整理 <p>2. 議会改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員による地域懇談会等を定例的に全集落、全地区で実施 ・市議会議員の定数についても見直し <p>3. 市民協働のまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発の継続 ・地域行事の活性化 ・町内会・自治会の活動支援 <p>4. 災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山道を整備し安全な避難路、避難場所を確保

日常生活の課題と解決に向けた方向性について

(6) その他

村上地区

現状と課題	解決するための方向性
<p>1. 岩船沖洋上風力発電事業</p> <p>①岩船沖洋上風力発電事業が決定し、営業運転できるようにする。建設に関わる調査や建設機材等運搬港を岩船港とするよう、岩船港を充実させる。部品製造会社、メンテナンス技術者養成学校、関係者宿泊施設、商業・娯楽施設等々、見通しを持った計画とそれに伴った施設ができていって人口減少ではなく人口増加を見る村上、魅力ある活気の満ちた村上、観光や視察に訪れる団体客等が増えていく村上、となるように推し進めて行ってもらいたい。</p> <p>②岩船沖洋上大型風力発電事業について 現在、岩船沖洋上大型風力発電事業が進められているが、事業内容を聞いても、現在設置運用している他地区でのデータや、具体的な説明が乏しく、客観的に見た具体性や根拠性に欠けるまま進んでいる現状がある。</p> <p>2. 耕作放棄地・里山荒廃対策</p> <p>①耕作放棄地や里山の管理が行き届いていない。このため鳥獣害も増えている気がする。</p> <p>3. 空き家・空き店舗対策</p> <p>①町屋（商店街）にシャッターが目立つ</p> <p>②空き家</p> <p>4. 交流人口対策</p> <p>①村上出身あるいは、村上に縁のある人との交流</p>	<p>1. 岩船沖洋上風力発電事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩船港の充実 ・関連施設の誘致 ・環境影響への配慮 <p>2. 耕作放棄地・里山荒廃対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地及び里山荒廃の実態把握 ・耕作放棄地の有効利用 ・里山の再整備 <p>3. 空き家・空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物づくりの人達に提供して、店先で実演してもらう（堆朱、織物、手芸、焼き物など）。 ・空き家を行政が水回りだけでも直し、住めるようにして、若い家族に安価で貸すもしくは無償で住んでもらう。 <p>4. 交流人口対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村上出身あるいは、村上に縁のある人との交流